

CHS(コイニング・ハーフ・シャー)工法について

CHS工法とは

CHS工法とは、HPC工法の形状を厚中板で加工すると破断発生するため、新たに厚中板用として考案した加工方法です。

メリットとして

- 1) 押し出した円柱は中空でないためHPCと比較すると格段の強度アップになります。
- 2) 円柱の根元と先端はRではなく、完全なエッジとなります。
- 3) クリアランス無用の加工方法なので板厚違いの材料にも一型で対応できます。

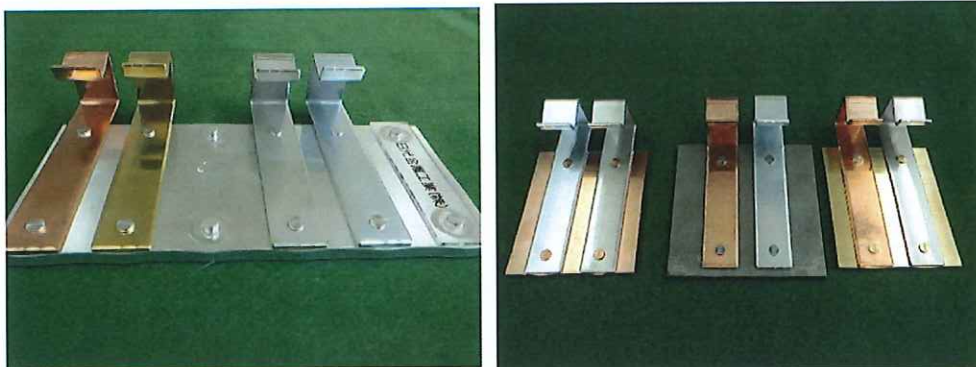


板厚8mm 突出し高さ6mm

CHS工法の用途

厚中板の異種材接合

鉄、ステンレス、銅、真鍮、アルミ、アクリル等の様々な異種材料がCHS工法で接合できます。



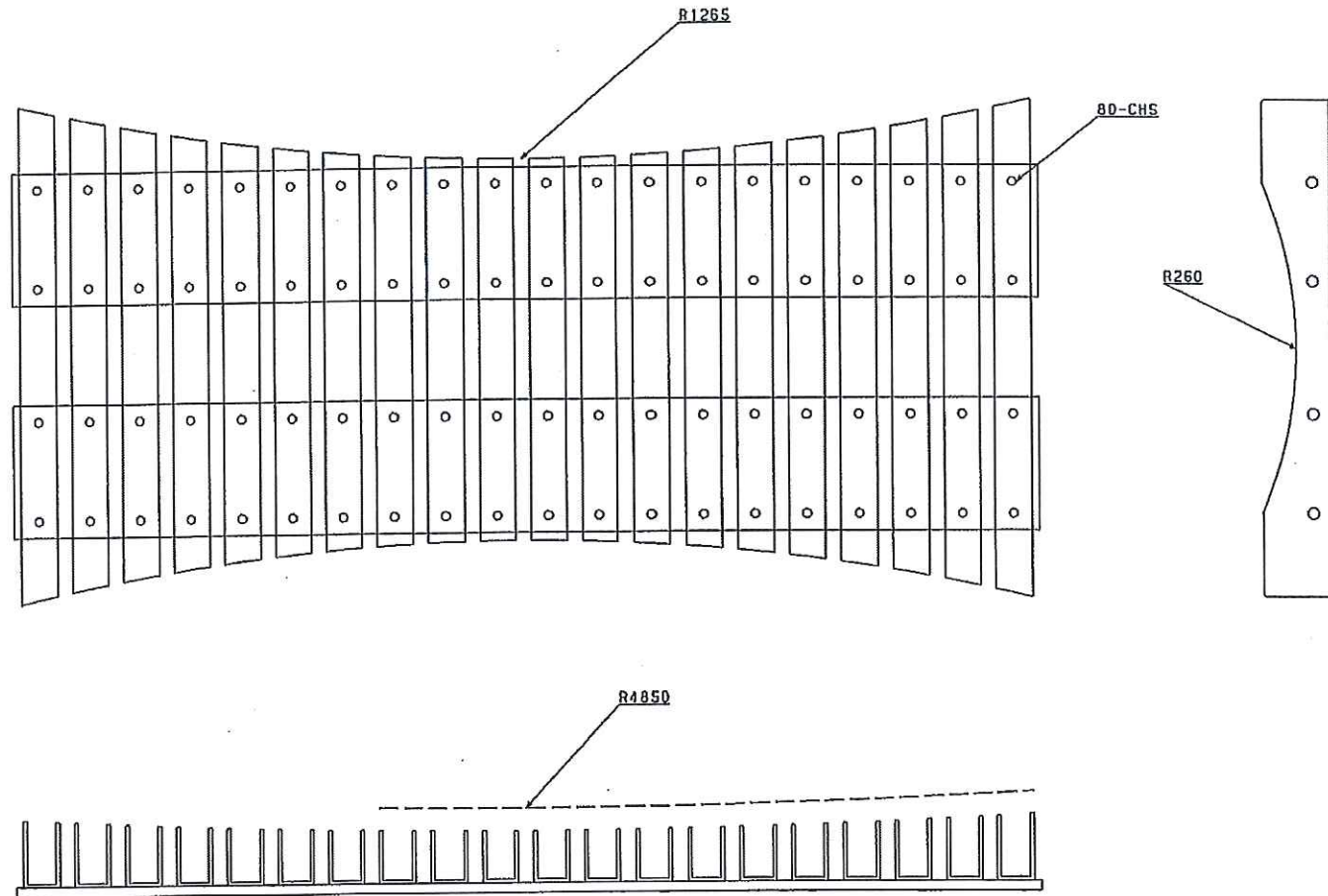
パッキング

厚板加工が困難な場合、中板にCHS加工し、圧延方向を90° クロスさせて、パッキングすることで厚板と同等以上の強度を持たせることができます。



「第28回 優秀板金製品フェア」出品作品

CHS接合によるオブジェ



CHS (コイニング・ハーフ・シャワー)